



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

持続可能なまちづくり

Q まちの形は、島原道路の進捗、人口の動向など時代とともに変化をしている。都市計画も時代とともに見直さなければならぬと考えるが？

A 昭和40年の指定以降、8回にわたり用途地域の追加や変更を行ってきた。今後は、5年ごとの都市計画基礎調査の結果などを基に、社会情勢の変化や市全体の土地利用を見極めながら、県と協議し、都市計画審議会の意見を聞きながら検討していきたい。

Q ①企業誘致の候補地は？

②水源調査の進捗は？

③用地確保での課題は？

A ①杉谷運動広場、礪石原町の九州地区国立大学島原共同研修センター跡地のほか、一定の広さを有する民有地を候補地として考えている。

②水源調査は杉谷運動広場付近で実施し、豊富な地下水の取水が可能で、帯水層があるとの報告を受けている。

③企業誘致候補地を探す中で、広さや主要道路からの距離、水や電力などの条件がそろっても、都市計画上の用途地域や農業振興地域に指定されていることで、誘致案件を逃すケースがある。

Q どのような場所が適地だと考え、どのような問題点があるのか？耕作放棄地の活用や用途地域の見直しができるようにしてほしいが？

A 島原道路の延伸に伴い、インターチェンジ周辺が適地となりえるが、都市計画用途地域や農業振興地域となっているケースが多く、候補地として見送らざるを得ない場合がある。今後は用途地域の見直しや農業振興地域の除外などの可能性について、柔軟に対応していきたい。

【その他の質問項目】

◇当初予算の特徴と目玉事業

◇指定管理者制度

◇まちづくりの委託

◇通学路の安全確保

◇舞岳山荘の活用



眉山クラブ
まつい だいすけ
松井 大助 議員

城と武家屋敷

Q 今回見つけた堀の水位調節機能には、私も驚き、当時の松倉重政公が熟慮して築城されたことに、ただただ関心している。全国的にどこにもあるものではないと思う。これまでも武家屋敷通りに空き家がないようにできないか考えてきたが、その対策の足がかりとして、今回、国、県、市長も本気ということであれば、関連する問題も一緒に取り上げることもまた市長の考え次第である。市長の本気度をお聞きしたい。

A 400年前のすばらしい技術であり、島原城保存計画委員会の先生方に聞いても、全国に誇れるすばらしい石垣であるとのこと。保存計画の先生、さらに専門家にきちんと評価してもらい、早い段階で国の文化財指定を受けたい。武家屋敷通りの古民家については、移住者の観点を大事にしなければ移住政策は進まない。関係部署が一緒になって、武家屋敷の空き家対策に取り組みたい。

Q 武家屋敷周辺の空き家対策について、空き家所有者に対する意向調査の結果はどうか。

A 令和3年10月に実施した江戸丁、下の丁の通りの空き家所有者に対する意向調査では、そのまま活用できるが6件、一部修繕すれば活用できるが2件、建物が倒壊した場合、隣接建物に影響があるが2件。活用が見込まれる空き家のうち、家財道具が入っているものが2件、年間を通して管理されていないものが3件、未回答が3件。未回答を除いた活用が見込まれる空き家の所有者の意向として、売却希望が1件、解体希望が1件、今後検討中が3件であった。

鉄砲町地区の街づくり協定

Q 城西中の丁と古丁、少なくともこの2町くらいは協定地区を広げることができると思うが、どうか。

A 鉄砲町の街づくり協定地区は、下の丁の全部、江戸丁、城西中の丁、新建の一部である。石垣など歴史的建造物の保全や歴史的景観の継承を図る目的で、令和2年12月に協定が締結された。城下町の歴史を生かした良好な町並み景観を整備、保存するため、個人の建築物など修景整備に対し補助率3分の2以内で250万円を限度に補助している。協定地区の拡大については、地域の理解と協力が必要であり、あくまでも住民協定であることから、地域と話し合いを重ね、拡大を検討したい。

【その他の質問項目】

◇町内会の組織づくりと運営

◇市の事業推進と人事異動